

「恋人の聖地」活用で実績

松山・二之丸庭園に観光交流賞



恋人の聖地「観光交流大賞」で、観光交流賞に選ばれた松山城二之丸史跡庭園

11月29日、松山市丸之内

500組結婚式前撮り評価

「恋人の聖地」を生かした活動で実績を挙げている自治体や団体を表彰する恋人の聖地「観光交流大賞2016」の審査会が1日、東京であり、松山市（松山城二之丸史跡庭園）が観光交流賞に選ばれた。

賞は、プロポーズにふさわしい場所などを恋人の聖地として認定するNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）などが2015年に創設。1日は、全国に217カ所ある聖地のうち書類審査を通過した11カ所から、華道家の假屋崎省吾さんが大賞や観光交流賞（7カ所）などを選んだ。

二之丸史跡庭園は年500組以上が結婚式の前撮りで利用するほか、婚活イベントなどで活用されている点が評価された。市観光・国際交流課は「217カ所の中から選ばれたことはありがたい。恋人の聖地は若者が参画できるテーマで、今後も一緒に魅力創出に努めたい」としている。大賞には栃木県の塩原温泉観光協会が選ばれた。

同庭園は、日露戦争時のロシア人捕虜の男性と日本人女性看護師のロマンスを秘めた金貨が出土したなどとして13年に聖地に認定された。

（白川英樹）